

地元企業×行政×大学×地域住民によるエリアマネジメント 金沢シーサイドタウン「あしたタウンプロジェクト」 始動！

平成 30 年 7 月 14 日（土）、地元企業や団体、行政、大学、地域住民らで構成される「横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会※1」は、横浜市立大学と横浜市住宅供給公社が事務局となり、「あしたタウンプロジェクト」を始動します。このプロジェクトは、「住宅地」におけるエリアマネジメントにより金沢シーサイドタウンの課題解決、活性化を目的としている点を特徴としており、プロジェクト名には、「このまちの豊かな毎日をあしたにつないでいこう」という思いが込められています。

活動の第一弾として、同日 7 月 14 日（土）に① 商店街の空き区画を活かしたコミュニティスペース、新「並木ラボ」をオープンし、同日 10 時から、地域住民に向けた利用説明やワークショップを兼ねたイベントを開催するとともに、② 地域情報を発信するホームページを立ち上げます。なお、これらは事前に住民参加のワークショップを実施し、住民の要望を反映してつくりました。またプレ活動として、③ ロゴマークの住民投票を実施中（6 月 18 日（月）～7 月 29 日（日）、結果発表は 8 月予定）です。「あしたタウンプロジェクト」は、“住みたい” “住み続けたい” “訪れたい” まちを目指して、認知拡大と、より多くの住民の参加促進を図っていきます。

【あしたタウンプロジェクト 直近の活動内容】

① コミュニティスペース、新「並木ラボ」オープニングイベント（10 時～17 時） 7 月 14 日

所在地：横浜市金沢区並木 1 丁目 17 7 号棟 1 階

約 260 m²の空間を、貸しスペース／キッチンスペース／キッズスペース／フリースペースで構成



■約 260 m²のコミュニティスペース、新「並木ラボ」の検討模型



■もともとの商店街の空き区画

《オープニングイベント概要（予定）》

10 時～ 公開トークセッション（横浜市立大学 三輪律江准教授、中西正彦准教授ほかによる取組趣旨、利用説明等）

13 時～ 地域住民や商店街等と連携したワークショップ

② 金沢シーサイドタウンエリアを中心とした、まちの情報発信ホームページ公開 7 月 14 日

URL：<http://ashitatown.jp> まちカレンダー／住民掲示板／まちマップ等で構成される、地域情報ポータルサイト

③ 認知向上・住民参加促進を目的としたプロジェクトロゴマーク住民投票 6 月 18 日～7 月 29 日

URL：<http://ashitatown.jp/entryform.html>

以下の 3 つのマークで住民投票を募っています。

A



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

B



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

C



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

お問い合わせ先

横浜市立大学 企画総務部企画財務課担当課長 倉本 裕義

Tel 045-787-2405

横浜市住宅供給公社 街づくり事業課事業推進担当課長 太田 祐輔

Tel 045-451-7821

（裏面あり）

参 考

※1 横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会について

・ 設立経緯

横浜市立大学は、平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の選定を受け、サテライト拠点として「並木ラボ」を設置し、地域課題の解決に取り組んできました。本活動を通じて、地域内外の情報収集や発信体制と、地域住民間の交流促進に拠点となる場の必要性等を確認しました。そこで、平成 29 年 2 月に横浜市立大学と連携協定を締結している横浜市住宅供給公社、および地元企業や団体、行政、大学、地域住民の方とともに「エリアマネジメント検討会」を立ち上げ、エリアマネジメント体制の構築について検討を進めてきました。

平成 30 年 5 月、この活動をより具体的なアクションへ進化させるために「エリアマネジメント協議会」へと移行しました。

・ 構成メンバー

【産】石井造園株式会社、株式会社安藤建設、株式会社三春情報センター、株式会社横浜シーサイドライン、株式会社横浜八景島、京浜急行電鉄株式会社、大和リース株式会社、独立行政法人都市再生機構、三井不動産株式会社

【官】横浜市金沢区役所、横浜市政策局、横浜市住宅供給公社

【学】学校法人関東学院、公立大学法人横浜市立大学

【民】金沢シーサイドタウン連合自治会

・ 事務局

公立大学法人横浜市立大学（代表教員：国際都市学系 三輪律江准教授、中西正彦准教授）、
横浜市住宅供給公社

三輪 律江 プロフィール

横浜市立大学国際総合科学群人文社会科学系列、准教授。国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース。博士（工学）。東京工業大学大学院卒業後、横浜国立大学地域実践教育研究センター准教授などを経て、2011（平成 23）年より現職。専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境、環境心理学。

中西 正彦 プロフィール

横浜市立大学国際総合科学群人文社会科学系列、准教授。国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース。博士（工学）。東京工業大学大学院卒業後、学術振興会特別研究員などを経て、2002（平成 14）年より東京工業大学助手（その後、助教）。2013（平成 25）年より現職。専門は都市計画。特に土地利用コントロールに関する制度論・計画論。

※2 金沢シーサイドタウン

横浜市金沢区所在、1978 年入居開始。9 事業者・37 団地・総戸数 8,905 戸からなるニュータウン。

「横浜の都市づくり将来計画の構想」（1965 年）による横浜市六大事業の一つとして、産業用地の創出等を目的として作られた埋立地に、既存市街地との緩衝・居住地確保のために整備されたまちです。水と緑など豊かな自然環境に恵まれた立地環境、槇文彦氏を始めとする日本を代表する建築家たちによってデザインされた美しい街並みは、他の同時代のニュータウンとは一線を画しています。

その中で「（仮称）新・並木ラボ」が位置するセンターシーサイド地区は、商店街（センターシーサイド名店会）や商業施設があり、金沢区並木 1 丁目のセンター地区として開発されました。また、隣接する「ふなだまり」とその周辺地区は、埋立地の中に残された貴重な水面のある公園として、住民の憩いの場となっています。

あしたタウンプロジェクト

金沢シーサイドタウン

はじまる

金沢シーサイドタウンが誕生して、もうすぐ40年。わたしたちのまちを、もっとよくしていこうというプロジェクトを立ち上げます。プロジェクト名には、このまちの豊かな毎日をあしたにつないでいこう、という思いを込めました。時代は変わっても、住みたいまちであり続けるために。主役は、このまちのみなさんひとりひとりです。ぜひ、ご参加ください。

ロゴマーク投票にご参加ください！

「あしたタウンプロジェクト」のシンボルとなるロゴマークは、みなさんの投票で決定します。下にある3点の中から、あなたがプロジェクトにふさわしいと思う1点にお近くの投票箱で投票いただくか、右にあるQRコードからオンラインでの投票をお願いします。【投票期間：2018年6/18(月)～7/29(日)】



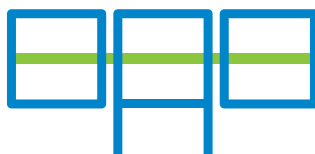
A



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

「あ」を象る二つの線は金沢シーサイドタウンに住む様々な住人を表すとともに、上空からのまちと道路をも表現。金沢シーサイドタウンの人々の交流が新しい「あした」を作り出す。

B



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

三つの「日」を一本の横線が貫いて「明日」となっている。三つの連なりは並木1丁目、2丁目、3丁目を。そして昨日、今日、明日を表す。このプロジェクトは金沢シーサイドタウンの一日一日をつないでいくものであることを表現。

C



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

あした「ASHITA」の「A」。図案化したこの文字を二つ組み合わせることによって矢印の形となる。みんなの「あした」が合わさることによって金沢シーサイドタウンが上に伸びていくことを表現。

7/14
SAT

並木ラボが 生まれ変わります

あしたタウンプロジェクト
の拠点「新しい並木ラボ」に
ご期待ください。

まちのみなさんと歩んできた並木ラボが7月に生まれ変わります。

これまで並木ラボをよく利用する方、たまーに利用する方、並木ラボがあることは知っているけれど、

いままで入ったことのない方、えっ？そんなところがあったの？という方・・・。

もっと多くの人に、もっとたくさん利用してもらうために、

いままでより広く、もっと魅力的な場所として、生まれ変わります。

いこいの場、ふれあいの場、学びあいの場。まちをあしたにつなぐ拠点として

生まれ変わる並木ラボに、ご期待ください。



あたらしい 並木ラボ はじまる

2018年7月14日
土曜日10時

参加費
無料

午前の部

公開トークセッション 10時→12時

どなたでも自由にご参加いただけます。

午後の部

ラボの家具をみんなで作ろう体験 13時→16時

12時に受付開始します。

菓匠「富貴」さんによる

和菓子づくり体験①②③ 13時→16時30分

①12時30分から受付。②14時から受付。③15時30分から受付。

PCなんでも相談室

13時→15時

12時30分から随時受付。

横浜市立大学医学部地域看護学教室による

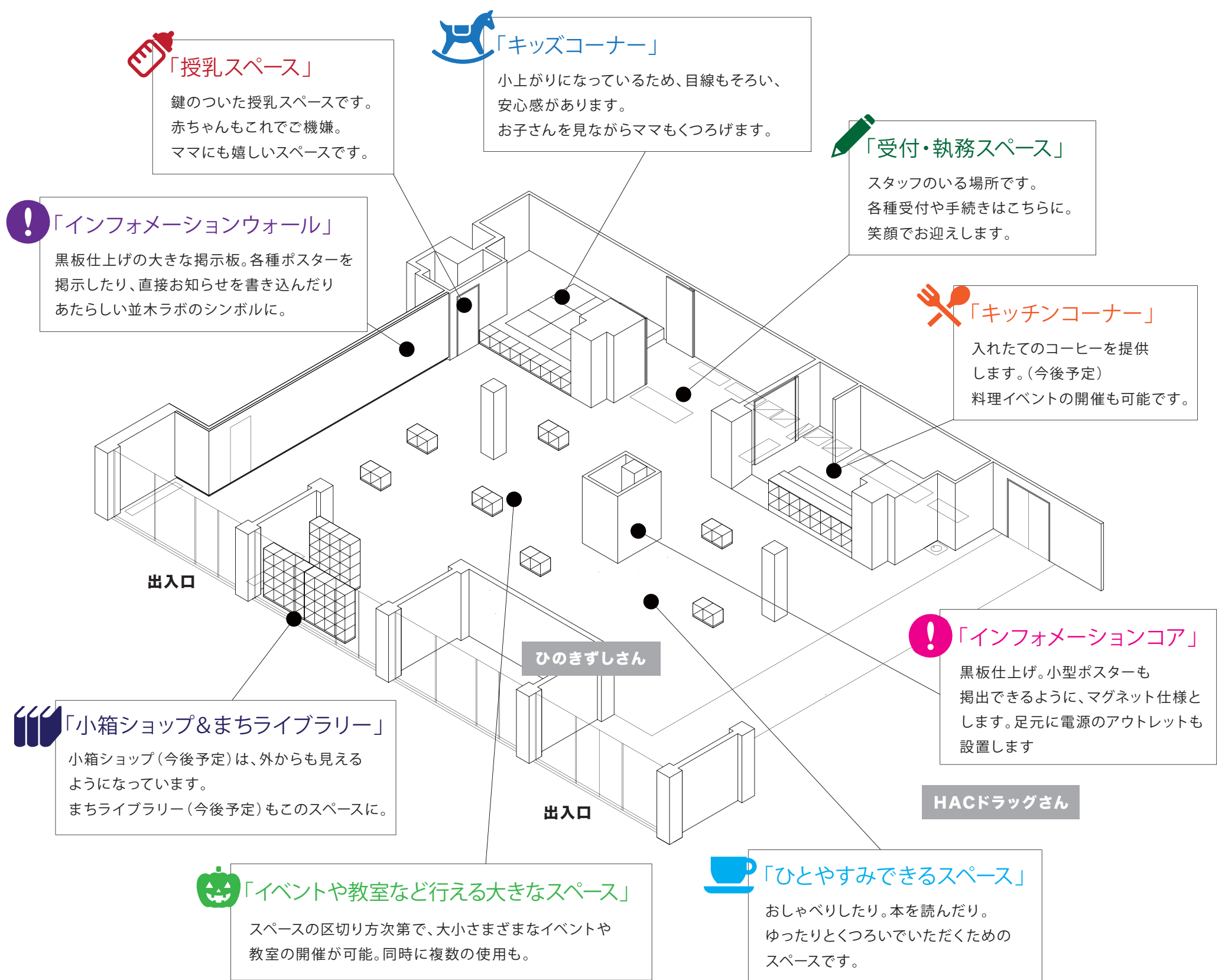
認知症&ロコモ予防①ミニ講座②健康チェック 13時→15時

①12時30分から受付。②13時30分から随時受付。

※家具製作体験、和菓子づくり体験はそれぞれ定員に達し次第締め切らせていただきます。

新「並木ラボ」の紹介

新「並木ラボ」の主演は、ここで過ごすまちの人たち。
アーケードからも、中の様子が見えるように、
開放感があり、明るいインテリアとします。
キッズスペースも設け、コーヒーなどの提供も予定。
誰でも立ち寄れて、ゆっくりと過ごしてもらえる場所づくりを目指します。



「約300個のアイデアが生まれた、公開ワークショップ」

新「並木ラボ」の設計にあたっては、2018年1月29日～2月5日にかけて三回にわたる公開ワークショップを行い、地域住民を始め 合計55人の方が参加してくださいました。これらまちのみなさんの意見をベースにして新「並木ラボ」はできました。